株式会社 昭和螺旋管製作所

消火関連製品

高品質と

施工しやすさを両立した

アクトSPNシリーズ

CATALOG

For Safety

For Convenience

For Future

スプリンクラー設備用フレキアクトSPN

Components for fire-extinguishing systems

21世紀のグローバルスタンダード

用途兼用化を実現した施工性に優れた一体型回転ニップル構造を持つフレキシブルホース

＊一般財団法人日本消防設備安全センター認定品

ホテル、ショッピングセンター、高層マンションなどの集合施設には消火設備の設置が義務付けられています。その消火設備において、天井内の配管元と各フロアの天井にあるスプリンクラーヘッドを繋ぐのが「アクトSPN」です。狭い天井を分岐するだけに、スプリンクラー配管は限られた空間の有効活用がポイントです。従来型施工は職人技に依存する部分も多かったのですが、このアクトSPNは配管のし易さが格段に向上しています。



用途別製 品適合表

製品＼用途	配管側口径	湿式スプリンクラー設備	乾式スプリンクラー設備	予作動式スプリンクラー設備	泡消火 設備（特定駐車 場・フォームヘッド・感知ヘッド）	負圧／真空スプリンクラー設備	露出配管用（軽易耐熱性試験合格品）	水道連結型（日本水道協会認証登録品）※湿式配管限定	広範囲2号消火栓・2号消火栓・補助散水栓	掲載頁
SPN	R1	○	○	○	○	○	○			9
B-SPR	R3/4	○	○	○	○	○	○	○		10
E-SPR	R1/2	○	○	○	○	○	○			11
SPN-SC	R1・R3/4・R1/2	○	○	○	○	○	○			12
SVJ2	R1								○	13

告示基準解説

消火設備用巻出し管継手は消防庁の告知基準との適合性を
(一財)日本消防設備安全センターにより評価され、登録認定されております。

金属製管継手及びバルブ類の基準(平成20年消防庁告示第31号より抜粋・要約)

試験項目	試験内容	判断基準
気密試験	管継手等に0.3MPaの空気圧を3分間加える。	漏れを生じないこと。
管継手漏れ試験	水を満たした管継手等に0.1MPaの水圧力を3分間加える。	漏れを生じないこと。
耐圧試験	管継手漏れ試験に合格した管継手等に対して、水を満たし、最高使用圧力の1.5倍の水圧力を3分間加える。	ひび、割れ、漏れ又は脱管が生じないこと。
破壊試験	管継手漏れ試験及び耐圧試験に合格した管継手等に対して、水を満たし、1 分間で最高使用圧力の4 倍となるまで水圧力をかける。	ひび、割れ、漏れ又は脱管を生じないこと。
水撃圧試験	水を満たした管継手等に対して0.1MPa から最高使用圧力の3.5 倍の圧力となるまで圧力変動を毎秒1 回の割合で100 回加えた後において、管継手漏れ試験及び耐圧試験を行う。	ひび、割れ、漏れ又は脱管を生じないこと。
曲げ試験(可動式管継手)	管継手に管を接続したものの内部に水を満たし、0.1Mpaの水圧力を加えた状態において、申請最小曲げ半径で申請最大曲げ角度の曲げを5回繰り返す。	ひび、割れ、漏れ又は脱管が生じないこと。
引張強度試験	管継手の軸方向に引張荷重を加える。 引張荷重＝π×最高使用圧力×(管外径)^2	破壊又は脱管を生じないこと。
耐薬品性試験	金属材やゴム材 (JIS K6258 準拠品)の試験片を温度23±2℃に保持した恒温装置内に7 日間静置する。試験液は、管継手等を使用する消火設備に用いる消火剤の水溶液又は原液とし、24 時間ごとに試験液をかき混ぜて濃度を均一にする。	金属材はその表面にさびその他の異常を生じないこと、ゴム材は質量変化及び体積変化がそれぞれ5%以上増減しないこと、かつ、変色を生じない又は変色が軽微であること。
軽易耐熱性試験※	内部に空気が残らないように水を満たし、最高使用圧力の水圧を加えた状態で、試験室の天井に正方配置した四個のスプリンクラーヘッドの中心に露出して設置し、管継手等の直下に置いた火災模型に点火し、火災模型をスプリンクラー設備により鎮火した後、漏れ試験・耐圧試験を行う。	ひび、割れ、漏れまたは脱管を生じないこと。

※軽易耐熱性試験の定義 :スプリンクラー設備であって湿式の流水試験装置が設けられているものの管継手及びバルブ類が天井部分に設定される場合において、火災時に著しい損傷を受けるおそれがある部分が自動式の消火設備の有効範囲内にある場合にあっては、軽易耐熱性試験に合格するものであること。(消防庁告示第31 号 金属製管継手及びバルブ類の基準 第3 管継手及びバルブ類の性能より引用)

消防認定証

別記様式

発行番号　更2026-0095 号

認　　定　　証

種　　別		消火設備（消火設備用巻出し管継手）
型　式　記　号		ｱｸﾄSPN-PSP
適　用　規　格		Ｂ１０３－１９・Ｂ１０４－１９
申請者名	所　在　地	東京都板橋区小豆沢２－２６－１０
	名　　称	株式会社昭和螺旋管製作所
	代　表　者	代表取締役社長　鈴木　紀房
認　定　番　号		PJ-133-2号
認　定　年　月　日		平成27年（2015年）01月27日
認　定　有　効　期　限		令和11年（2029年）03月31日

上記適用規格に適合するものであることを認定します。

一般財団法人 日本消防設備安全センター
理事長　西　藤　公　司

消火関連製品

SPN製造特長　Manufacturing Features

自社工場による一貫生産ラインが、安定した高品質を実現しています。

自社工場一貫生産によるすべての工程での高度に安定した品質が 優れた製品の供給を実現します。

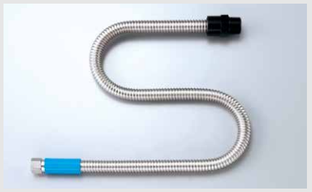
一体型回転ニップル構造

●昭和螺旋管製作所独自の一体型回転構造により、アダプタなどの付属品が不要のため最小限のねじ込み箇所で済むため、施工性に優れており、漏水リスクも少ない構造です。
●ニップル内部に電気絶縁材を緩衝させた構造により、異種金属接触腐食を防止しています。



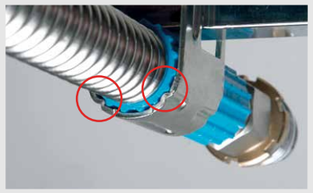
フレキチューブ

●SUS316製のため、耐久性・耐食性に優れています。
●オールフレキシブルのため、どこでも曲げることが出来ます。
※外的要因保護のために、被覆品オプション（P15）をご参照ください。



カバー

●専用固定金具の凸部と密着する凹部加工により、スプリンクラーヘッド交換等の際の供回り防止機能を有しています。
●10mm毎に目盛りがあるため、固定時にレベル調整が出来ます。



ソケット

●六角形状で、スパナ等使用し易くスプリンクラーヘッド固定の際に施工し易くなっています。



耐震性

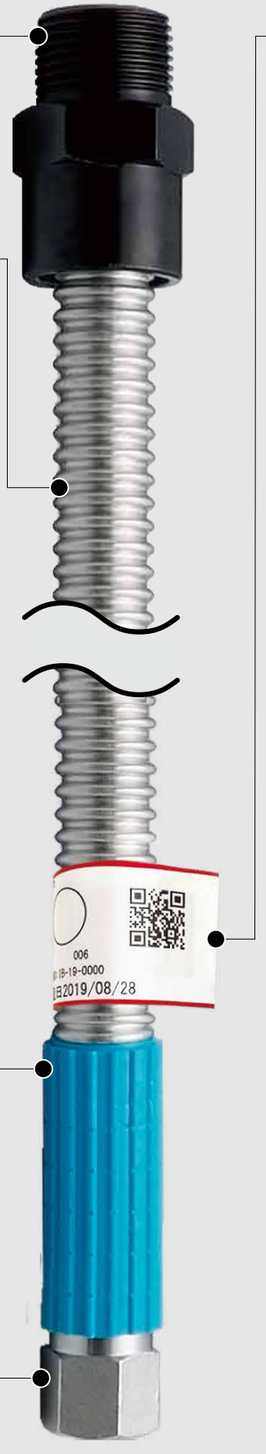
●フレキチューブは、優れた可とう性を持つことから、地震時の配管の動きを吸収し、スプリンクラーヘッドの損傷を抑えます。
●巻き出しフレキの耐震性については、一般財団法人日本消防設備安全センター様の「消火設備配管等に対する耐震基準検討委員会」で実施されました「消火設備配管等の耐震性に係る振動実験(耐震実験)」において、耐震性に問題ないことが確認されています。

各種スプリンクラー設備（軽易耐熱性試験合格）

兼用タイプでお使いやすくなりました。詳細は下記1～4をご参照ください。

1.湿式、乾式、特定駐車場用泡消火設備
　真空スプリンクラー設備
　露出湿式スプリンクラー設備対応※　→P 9　SPN　Series
2.泡消火設備用フォームヘッド対応　→P10　B-SPR　Series
3.泡消火設備用感知ヘッド対応　→P11　E-SPR　Series
4.露出湿式スプリンクラー設備対応※　→P12　SPN-SC　Series

※スプリンクラー設備であって湿式の流水試験装置が設けられているものの管継手及びバルブ類が天井部分に設置されて、火災時に著しい損傷を受けるおそれがある部分が自動式の消火設備の有効範囲内にある場合に、使用可（消火設備用巻出し管継手 認定書類 管継手の明細書より引用）。



RF-ID(ICタグ)搭載

●施工済み商品のトレーサビリティ向上。



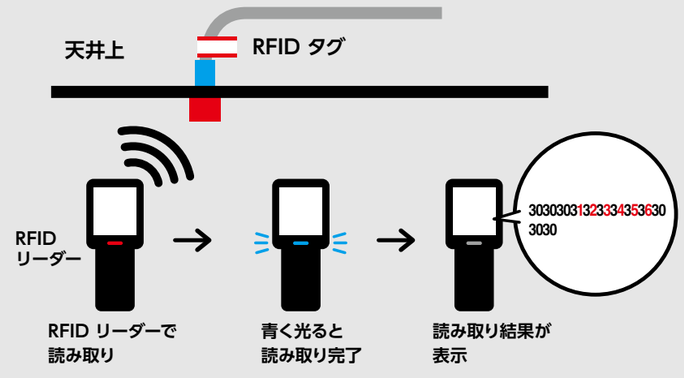
※汎用リーダーの読取感度をよくする為に、アンテナ部分が立つ仕様にしております。
　引っかかると剥がれる虞がある為、取り扱いにはご注意下さい。

ICタグ　ラインアップ

型式名称	製品長	ラベル色	新ラベルイメージ
SPN/SPR05	500L	ホワイト	
SPN/SPR/SC-08	800L		
SPN/SPR/SC-11	1100L		
SPN/SPR/SC-15	1500L		
SPN/SPR/SC-18	1800L	ブルー	
SPN/SPR/SC-20	2000L		
SPN/SPR/SC-21	2100L		
SPN/SPR/SC-25	2500L	イエロー	
SPN/SPR/SC-30	3000L	グリーン	
SPN/SPR/SC-38	3800L	レッド	
SPN/SPR/SC-45	4500L	ピンク	
SPN/SPR/SC-55	5500L		
SPN/SPR/SC-65	6500L		

将来的なRFIDを活用したシステム運用イメージ

①製品名　②製造番号　③生産日　④検査数　等を表示予定（開発中）。



消火関連製品

SPN製造特長　Manufacturing Features

自社工場による一貫生産ラインが、安定した高品質を実現しています。

自社工場一貫生産によるすべての工程での高度に安定した品質が優れた製品の供給を実現します。

1 国内自社一貫製造

●部材受入から出荷まで厳しい品質管理のもと、自社工場による一貫した生産ラインで製造しております。





2 造管

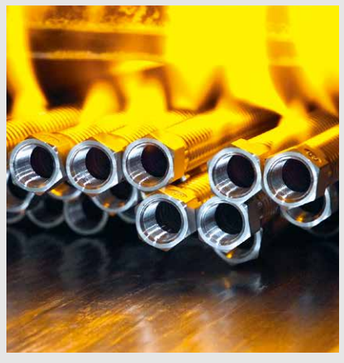
●薄肉であっても耐圧性に優れ、また柔軟に曲げられるフレキの製造に欠かせない工程です。

●配管作業の効率化、また近年では特に耐震対策が求められており、この工程が多方面で活きています。

3 溶接・光輝焼鈍

●高温の炉にかけ、焼き鈍しすることにより部材の成形後の組織を柔軟に曲げ易くなります。また腐食を防止します。





4 検査・梱包

●当社では全数検査の管理徹底をする事で、高品質な製品造りを実現しております。






製品長別梱包仕様






巻き梱包仕様により、品質の向上・輸送の効率化・環境への配慮・施工時間の短縮等、省人化に繋がるように取り組んでおります。

製品長	仕様	入数（本）	サイズ（mm）		
			W	D	H
500L	箱（ストレート梱包）	20	195	550	175
800L	エアキャップ（ストレート梱包）	10	160	870	130
1100L	箱（ストレート梱包）	各 20	195	1150	180
1500L				1550	
1800L				1850	
2000L				2050	
2100L				2150	
2500L	エアキャップ（ストレート梱包）	各 10	160	2570	130
3000L				3070	
3800L				3870	
4500L	箱（巻き梱包）	各 5	900	900	200
5500L					
6500L					
2500L	箱（巻き梱包）	各 10	450	290	465
3000L					
3800L			480	310	475
4500L			485	310	490

SPN製品ラインナップ　SPN Series Line-up

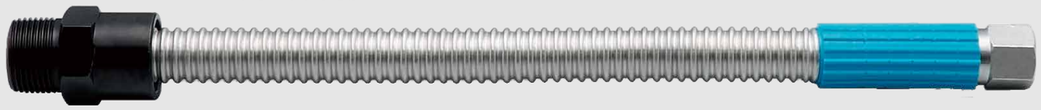
軽易耐熱性試験合格品

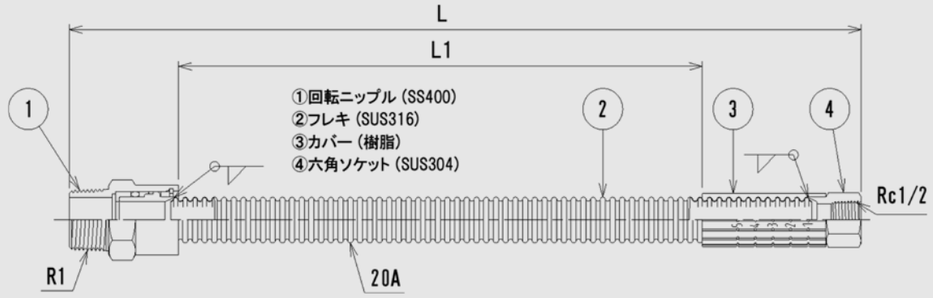
図面・認定証のダウンロードはこちらから

SPN-R1 25A

SPN 湿式乾式泡消火設備用フレキ

SUS316素材と絶縁性の高い回転ニップルとの一体構造で究極の使い易さを実現。
スケルトン、ルーバー天井等で使用可能。





■製品特長

一体型回転構造のため、余分なパーツは不要で最小限のねじ込みにて施工を実現し、一体型回転構造のニップル内は絶縁構造となっており、使用後の異種金属接触腐食を防止できます。フレキ素材はSUS316を使用し高耐食性高品質を実現し、抜群の実績からくる確かな信頼性を得ています。

■仕様

認定番号：PJ-133-2号
型式記号：SPN-PSP（湿式用PJ-133号　乾式兼用PJ-133-1号の統合）

■適応設備

1.スプリンクラー設備（湿式用・乾式用・予作動式用・真空用）※露出環境の場合、湿式配管限定。
2.泡消火設備（特定駐車場用）

■寸法表・等価管長

品名	配管側口径	重量（kg）	L	L1	35l/min	50l/min	80l/min
SPN-11	R1 25A	0.59	1100	948	4	6	8
SPN-15		0.67	1500	1348	5	7	9
SPN-21		0.81	2100	1948	8	10	12
SPN-25		0.89	2500	2348	9	11	13
SPN-30		1.00	3000	2848	11	15	17
SPN-38		1.18	3800	3648	14	17	18
SPN-45		1.33	4500	4348	18	22	24
※以下受注生産品							
SPN-05	R1 25A	0.45	500	348	3	4	5
SPN-08		0.52	800	648	3	6	7
SPN-18		0.74	1800	1648	6	8	11
SPN-20		0.78	2000	1848	8	10	12
SPN-55		1.55	5500	5348	23	26	28
SPN-65		1.77	6500	6348	26	29	32

※等価管長は、最大屈曲状態による最小曲げ半径65R　最大曲げ角度180°2箇所曲げ(4500L～6500Lは試験値からの算出）炭素鋼鋼管20A相当に換算
※500Lの最大屈曲状態は最小曲げ半径65R　最大曲げ角度100°1箇所曲げとする。

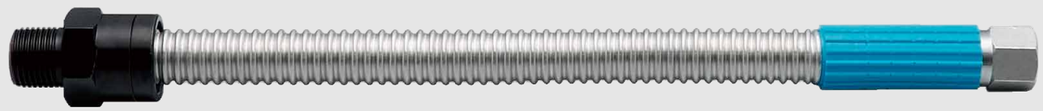
受注生産品

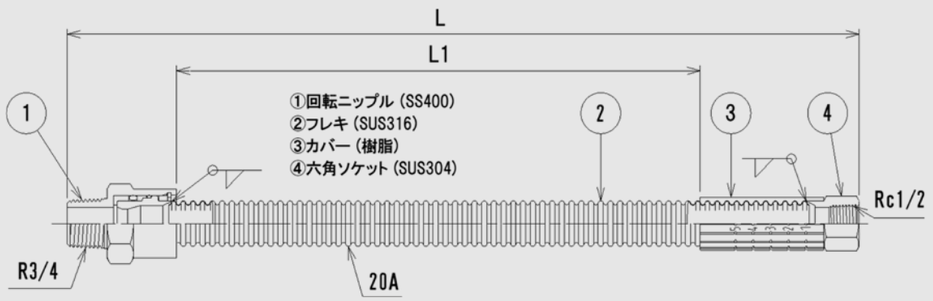
図面・認定証のダウンロードはこちらから

B-SPR-R3/4 20A

B-SPR 泡消火設備用フォームヘッド対応フレキ

業界初! 施工性抜群の一体型回転ニップル構造で泡消火設備用が登場。





■製品特長

SPNとして抜群の実績のある一体型回転ニップル構造で、接続部口径をR3/4にすることにより、泡消火設備用フォームヘッド対応品として、ご使用いただけます。消火設備配管径と適合しているため、異径継手等が不要となり大変便利です。また、従来の当該商品より、長尺対応が出来、施工性が格段に向上しております。

■（社）日本水道協会認証登録品（オプション）

（社）日本水道協会認証登録品としての製品です。特定施設水道連結型スプリンクラーにご使用いただけます。　※関係自治体ごとの施工指針をご参照ください。

■仕様

認定番号：PJ-133-2号
型式記号：SPN-PSP

■適応設備

1.泡消火設備（フォームヘッド対応・特定駐車場用）
2.スプリンクラー設備（湿式用・乾式用・予作動式用・真空用）※露出環境の場合、湿式配管限定。

■寸法表・等価管長

品名	配管側口径	重量（kg）	L	L1	35l/min	50l/min	80l/min
B-SPR-05	R3/4 20A	0.45	500	348	3	5	6
B-SPR-08		0.52	800	648	3	6	7
B-SPR-11		0.59	1100	948	4	6	8
B-SPR-15		0.67	1500	1348	5	7	9
B-SPR-18		0.74	1800	1648	6	8	11
B-SPR-20		0.78	2000	1848	8	10	12
B-SPR-21		0.81	2100	1948	8	10	12
B-SPR-25		0.89	2500	2348	9	11	13
B-SPR-30		1.00	3000	2848	11	15	17
B-SPR-38		1.18	3800	3648	14	17	18
B-SPR-45		1.33	4500	4348	18	22	24
B-SPR-55		1.55	5500	5348	23	26	28
B-SPR-65		1.77	6500	6348	26	30	32

※等価管長は、最大屈曲状態による最小曲げ半径65R　最大曲げ角度180°2箇所曲げ(4500L～6500Lは試験値からの算出）炭素鋼鋼管20A相当に換算
※500Lの最大屈曲状態は最小曲げ半径65R　最大曲げ角度100°1箇所曲げとする。

SPN製品ラインナップ　SPN Series Line-up

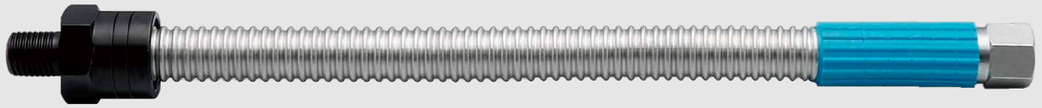
E-SPR-R1/2 15A

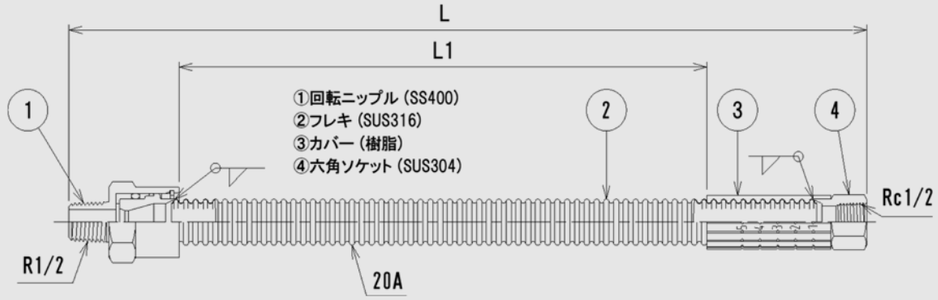
E-SPR 泡消火設備用感知ヘッド対応フレキ

受注生産品

図面・認定証のダウンロードはこちらから

業界初! 施工性抜群の一体型回転ニップル構造で泡消火設備用が登場。





■製品特長

SPNとして抜群の実績がある一体型回転ニップル構造で、接続部口径をR1/2にすることにより、泡消火設備用感知ヘッド対応品として、ご使用いただけます。消火設備配管径と適合しているため、異径継手等が不要となり大変便利です。また、従来の当該対応品より、長尺対応が出来、施工性が格段に向上しております。

■仕様

認定番号：PJ-133-2号
型式記号：SPN-PSP

■適応設備

1.泡消火設備(感知ヘッド対応)
2.スプリンクラー設備（湿式用・乾式用・予作動式用・真空用）※露出環境の場合、湿式配管限定。

■寸法表・等価管長

品名	配管側口径	重量 (kg)	L	L1	35l/min	50l/min	80l/min
E-SPR-05	R1/2 15A	0.44	500	348	3	6	7
E-SPR-08		0.50	800	648	3	6	7
E-SPR-11		0.57	1100	948	4	6	8
E-SPR-15		0.66	1500	1348	5	7	9
E-SPR-18		0.73	1800	1648	6	8	11
E-SPR-20		0.77	2000	1848	8	10	12
E-SPR-21		0.79	2100	1948	8	10	12
E-SPR-25		0.88	2500	2348	9	11	13
E-SPR-30		0.99	3000	2848	11	15	17
E-SPR-38		1.17	3800	3648	14	17	18
E-SPR-45		1.32	4500	4348	18	25	26
E-SPR-55		1.54	5500	5348	23	27	30
E-SPR-65		1.76	6500	6348	26	31	34

※等価管長は、最大屈曲状態による最小曲げ半径65R　最大曲げ角度180°2箇所曲げ(4500L～6500Lは試験値からの算出) 炭素鋼鋼管20A相当に換算
※500Lの最大屈曲状態は最小曲げ半径65R　最大曲げ角度100°1箇所曲げとする。

SPN-SC-R1　25A

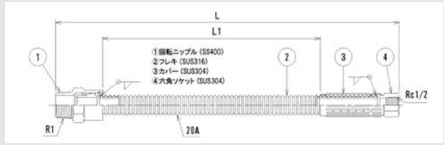
SPN-SC 軽易耐熱性試験合格品

受注生産品

図面・認定証のダウンロードはこちらから

スケルトン天井、ルーバー天井等で使用可能に!幅広い施工を実現。





■製品特長

実績のある従来品SPNのカバー部の材質を樹脂製からSUS製にすることにより直火に溶けない仕様としています。消防法告示第31号基準の軽易耐熱性試験に合格しており、スケルトン天井、ルーバー天井等設置場所を選びません。(湿式配管)配管側口径により、R1(品名：SPN-SC)、R3/4(品名：B-SPR-SC)、R1/2(品名：E-SPR-SC)をお選びいただけます。

■仕様

認定番号：PJ-133-3号
型式記号：SPN-PSP

■適応設備

1.スプリンクラー設備(湿式用・乾式用・予作動式用・真空用)
※露出環境の場合、湿式配管限定。
2.泡消火設備

■寸法表・等価管長

品名	配管側口径	重量 (kg)	L	L1	35l/min	50l/min	80l/mi
SPN-SC-08	R1 25A	0.52	800	635	3	6	7
SPN-SC-11		0.59	1100	935	4	6	8
SPN-SC-15		0.68	1500	1335	5	7	9
SPN-SC-18		0.74	1800	1635	6	8	11
SPN-SC-20		0.79	2000	1835	8	10	12
SPN-SC-21		0.81	2100	1935	8	10	12
SPN-SC-25		0.90	2500	2335	9	11	13
SPN-SC-30		1.01	3000	2835	11	15	17
SPN-SC-38		1.18	3800	3635	14	17	18
SPN-SC-45		1.34	4500	4335	18	22	24
SPN-SC-55		1.56	5500	5335	23	26	28
SPN-SC-65		1.78	6500	6335	26	29	32

※等価管長は、最大屈曲状態による最小曲げ半径65R 最大曲げ角度180°2箇所曲げ(4500L～6500Lは試験値からの算出) 炭素鋼鋼管20A相当に換算
※配管側口径 R3/4(品名：B-SPR-SC)、R1/2(品名：E-SPR-SC) も用意しています。上記 L 寸毎の等価管長は同様でございます。

SPNオプション製品ラインナップ SPN Series Line-up

被覆品

外的要因（スパッタ・迷走電流・異種金属接触等）を外面被膜で防御。取り付け後の経過確認も容易です。

被覆 非施工品

被覆 施工品

被膜状態がわかるように色（ブルー）を着けています。
実際の施工は無色透明になります、透明被覆（SPN-CT、SPN-CR）



黒被覆（SPN-BK）

黒被覆（SPN-SC-BK）
露出配管時の内装意匠合わせに【SPN-SC-BK】もご検討下さい。

■製品特長

外的要因(スパッタ・迷走電流・異種金属接触・塩素・塩害)による障害を外面被覆で防御。黒被覆と透明被覆を用意しています。透明被覆は、取り付け後の経過確認も容易です。

■仕様

3種類の被覆材質に特性がございます。用途や設置環境に応じて、被覆材質をご選択いただけます。詳細は下記表をご参照ください。

品　名	材　質	色	絶　縁　性	難　燃　性	柔　軟　性
SPN-BK	EPDM	黒	◎	◎	◎
SPN-CR	ポリオレフィン	透明	○	△	○
SPN-CT	PVC	透明	○	○	△

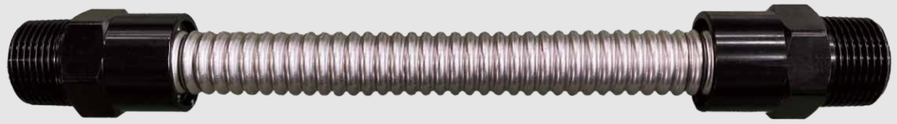
SPN製品ラインナップ　SPN Series Line-up

【適応設備 広範囲2号消火栓 追加】

受注生産品

アクト-SVJ2 ※固定金具一式セット販売可能(オプション対応)

消火栓箱の配管合わせが簡単!





■製品特長

後から配管合わせが可能になり配管合わせの手間がなくなります。回転ニップルにより省力化。パイプのねじ切り・ねじ込み、エルボのねじ込みが最小限になります。フレキの柔軟性・可撓性を最大限に活用可能でき、施工品質の均一化に貢献。

■適応設備

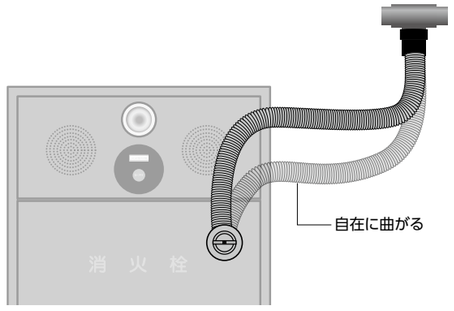
2号消火栓・補助散水栓・広範囲2号消火栓
※その他の配管継手としてご使用いただく際は、圧力等仕様の範囲内であることを確認しご利用ください。(使用圧力1.4MPa 試験圧力2.1MPa)

■固定金具一式(部品一覧)

ニップル(25A) / ねじ込み継手エルボ(25A) /
L型アングル材※ボルトナット付 / ベースチャンネル※ボルトナット付 /
Uボルト※ボルトナット付 / 半割れ樹脂カバー

■仕様

認定番号:PJ-267号



■寸法表・等価管長

品　名	接続	重量 (kg)	製品全長 L (mm)	製品全長 L1 (mm)	等価管長値 60L/min	等価管長値 80L/min
SVJ2-07	両端 R1 25A	0.66	700	576	15	15
SVJ2-12		0.78	1200	1076	22	22
SVJ2-17		0.89	1700	1576	28	28
SVJ2-22		1.00	2200	2076	34	34
SVJ2-27		1.11	2700	2576	42	42
SVJ2-32		1.22	3200	3076	48	48
SVJ2-37		1.33	3700	3576	56	56

※等価管長は、最大屈曲状態による最小曲げ半径65R　最大曲げ角度90°2箇所曲げ 炭素鋼鋼管25A相当に換算

消火栓フレキシブル工法 施工要領書

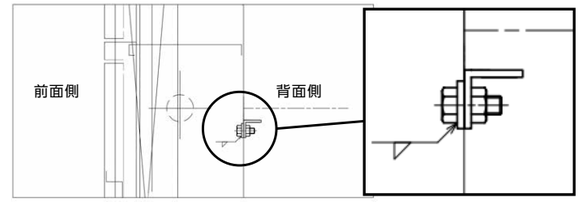
※不燃区画を貫通させないでください。

STEP 1

枝配管にSVJ2を接続し、とぐろ状に仮固定します。

・SVJ2両端のテーパーネジには、シール剤の塗布かシールテープを巻いてください。
・取付時、ニップル根本から一握り分(50mm程度)の間隔を取って、曲げることを推奨します。
最小曲げ半径65R以下で曲げない様に注意してください。

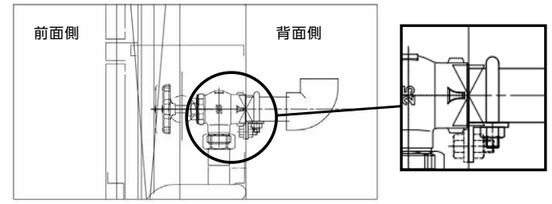
図1　L型アングル　取付イメージ図



STEP 2

消火栓格納箱のバルブ口(下部)にL型アングル材を取り付けます。
※図1参照
消火栓弁に単管を接続し、L型アングル材にUボルトを取り付けて単管を固定します。※図2参照
単管にエルボを接続します。

図2　Uボルト　取付イメージ図

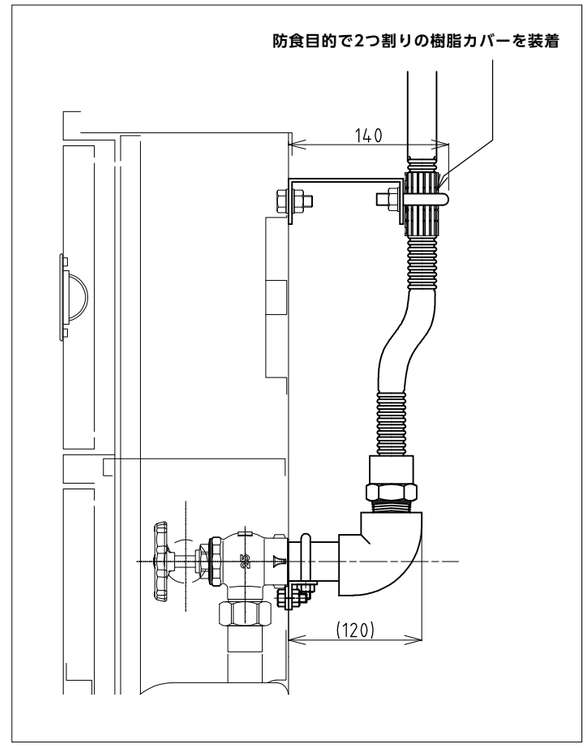


STEP 3

エルボにSVJ2を接続します。

・SVJ2のL寸法2mを超える場合は、中間支持を設けてください。中間支持方法については、図3を参照ください。
・所定の試験圧力による加圧試験を行ってください。※使用圧1.4MPa以下/耐圧試験1.75MPaもしくは、締め切り圧の1.5倍

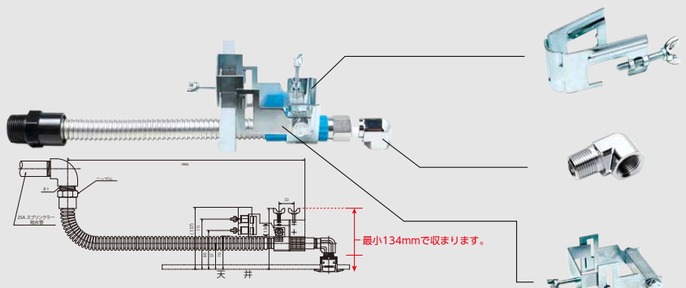
図3　中間支持　取付イメージ図



SPNオプション製品ラインナップ SPN Series Line-up

取り付け用金具(オプション品)

センター金具、ストリートエルボ、ダクト下用金具



■センター金具

カバー部分との密着により性能を最大限発揮できる専用固定金具です。※供廻り防止機能付き

■ストリートエルボ

狭い場所での横引き配管用(非認定品)

■ダクト下用金具

ダクト下等の狭い場所での横引き配管時に使用し、下地材との調整機能があります。

取り付け用金具・付属品

半割樹脂カバー



■製品特長

- 長さが短くなり、取付け箇所が拡大。
- 天井面と固定位置が離れた時に大活躍。
- SPヘッドの取り外し、及び単管の取付が不要に。
- ツメ機能が加わり、取付け作業時に手を添える必要が無く、より簡単に。

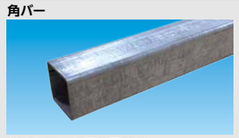
金具三点セット

センター金具



アクトSPNと角バーの専用固定金具
供廻り防止機能付き

角バー



巻出しフレキ用の固定バー
16mm角×1200L

サイド金具



角バ ーと下地材の固定金具
クリップ式

黒色仕様(カチオン塗装)対応可



サイド金具

T型サイド金具



<特長・用途>
■□型バーとファイリングの固定金具
■開口部が広く、□型バーの角度調整がしやすい。
■鉄製(電気亜鉛めっき)

K型サイド金具



<特長・用途>
■□型バーとファイリングの固定金具
■開口部が広く、□型バーを固定しやすい。
■鉄製(電気亜鉛めっき)

Z型サイド金具



<特長・用途>
■□型バーとファイリングの固定金具
■抱え込みタイプで強固な固定ができます。
■鉄製(電気亜鉛めっき)

施工要領の
動画はこちらから

取り付け用金具・付属品

アジャストK

SPN専用レベル調整用センター金具 特許取得品【特許第6385534号】



オプション品

T字・L字六角ドライバー



引き出し用工具 二種(φ50・φ40)



■製品特長

SPN専用レベル調整用センター金具【アジャストK】とは、SPヘッド取付高さの再調整を行う際、点検口から天井裏に侵入して行っていた作業を、天井下からセンター金具を緩めて取付高さを任意に再調整可能な金具です。

■施工要領

SPN巻き出し固定時

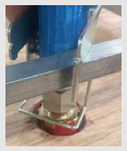
STEP1
巻き上げ状態のSPNを巻き下げ、SPNの装着されたSPヘッドにキャップをした状態で、レベル調整用センター金具【アジャストK】(以下"金具")上方から金具内部へ通してください。



STEP2
SPN樹脂カバー部の凹凸部を金具内側の凹凸部に合わせてください。



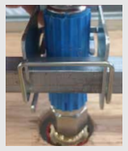
STEP3
SPNと金具の固定部を抑えながら、上方から斜めに角バーを通してください。



STEP4
通した金具を右方向へ45度回転させてください。



STEP5
セーフティーバーを(パチッと音が鳴るまで)上げてください。



STEP6
金具下部にあるネジの位置を確認し、六角ドライバーでネジをとめてください。



SPヘッドのレベル調整時

STEP1
SPヘッドに装着されたシーリングプレートを外し、SPヘッド周りの溝から金具下部にあるネジを確認してください。

STEP2
SPヘッドを引き出し工具で抑えてください。



STEP3
六角ドライバーでネジを緩めてください。この際SPNが天井内部へ引き込まれないよう、引き出し工具でしっかり抑えてください。



STEP4
SPヘッドのレベルを調整してください。

STEP5
六角ドライバーでネジを締めてください。この際SPNが斜めにならないよう、引き出し用工具でしっかり抑えてください。

STEP6
シーリングプレートをSPヘッドに装着してください。

SPNオプション製品ラインナップ　SPN Series Line-up

アクトTバー

特許取得
特許番号 第7816721号

スケルトン天井内でのフレキ取付の大幅な時間短縮が可能。
サイズ：230L

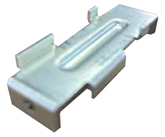




黒色仕様（カチオン塗装）対応可

オプション品

ストッパー



センター金具

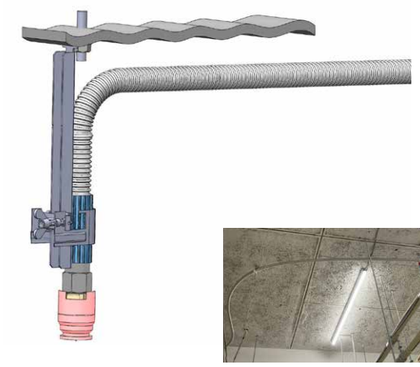


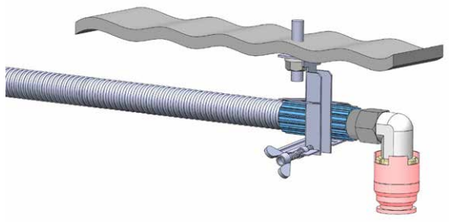
※センター金具は別売りとなります。

■製品特長

フレキをアクトTバーで支えストッパーとセンター金具で挟んで使用。スケルトン天井内での配管合わせの手間から解放。ヘッドの取付レベルの調整にも対応可能。フレキ取付が垂直方向と水平方向に可能。

・消防法に規定されているスラブ面から300L以内にスプリンクラーヘッドを設置することが可能です。









■施工手順（垂直方向取付の場合）

STEP1
スラブに墨だし後、アンカーを打設。※アンカーとスプリンクラーヘッドが同芯になる様に設計しております。

STEP2
アンカー打設位置にネジボルトを挿入。ネジボルトをアクトTバー端部の穴に通しナットにて締付固定。



STEP3
巻き上げ状態のSPNを巻き出し、フレキをアクトTバーに沿うようにする。（フレキ曲げRは、専用治具の使用を推奨。）※六角ソケットは、アクトTバー端部よりも下になる様に調整する。





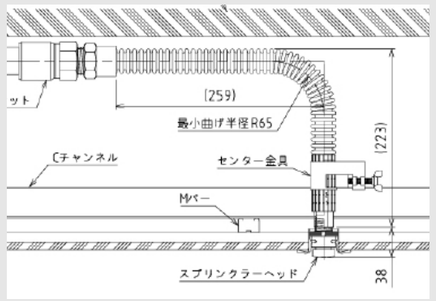
STEP4
カバー部の凹凸部とセンター金具内側の凹凸部をはめ合わせ、ストッパーを取り付けてセンター金具に付いている蝶ネジで締付固定。※フレキ自重、放水反力への安全対策として、フレキ中間部に支持固定（バンド）の取り付けを お願い致します。※ストッパーの曲がり防止のため、蝶ネジはストッパーに接触してから2回転（0.7N・m）までとしてください。





樹脂管接続用スプリンクラー配管工事の新工法のご提案

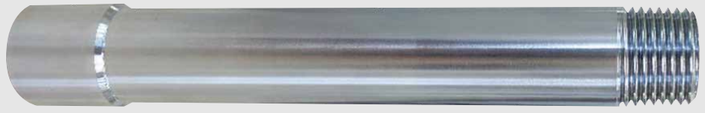
樹脂製スプリンクラー配管工事の施工性をよくする為、
新たにアクトSPN-05をラインナップに 加えました。フレキをエルボ形状に曲げることで、
樹脂フレキのパイプ反力による 影響を気にすること無く、取付が可能になります。





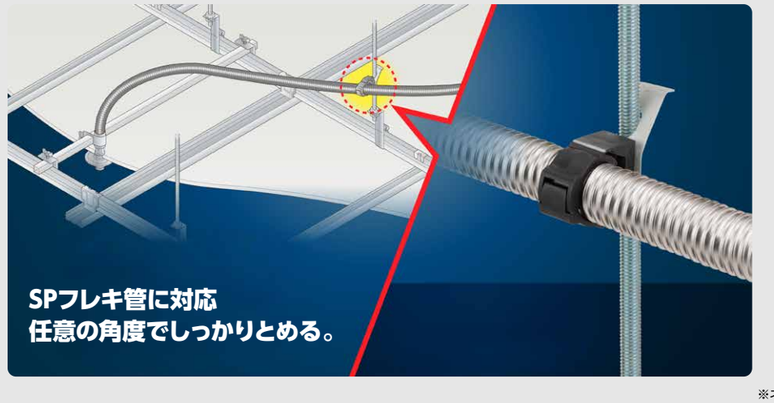
アクトソケット

ヘッド位置調整用延長ソケット
サイズ：65L・75L・100L　特注品：150L・250L
材質：SS400（電気亜鉛めっき）・消防非認定品



所轄消防署へ確認の上、ご使用ください。

中間支持用金具SPロック®



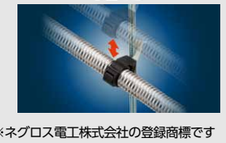
工具不要！
片手で取り付けワンタッチ！



角度も自由自在、
管を斜めに固定可能！



管を取り付けた後でも
調整可能！



※ネグロス電工株式会社の登録商標です

SPN施工要領　Construction procedure

アクトSPNはお客様の声と共に歩んできた製品です。

優れた製品を最大限に生かすには、現場での施工が間違いなく、しかも「速く確実」であることが大切です。
そのためのサポートにも数々の実績があります。

STEP 1

適用するアクトSPNを選択します。

スプリンクラー・泡消火・露出環境等、使用条件に合った製品を選択して下さい。

STEP 2

スプリンクラーヘッドを取り付けます。

スプリンクラーヘッドをアクトSPNに取り付けてください。

- **スプリンクラーヘッドは、専用ヘッドレンチを用いて取り付けてください。**
  ※各ヘッドメーカーの推奨トルク値をご参照ください。
- **作業の際は、カバー部(絶縁部)にパイプレンチ等をかけないようにご注意下さい。**



STEP 3

アクトSPN本体を取り付けます。

枝配管にアクトSPN本体を取り付けてください。



- **ニップル根元から一握り分(50mm程度)の間隔を取って曲げることを推奨します。**



- **テーパーねじには、シール剤の塗布かシールテープを巻いてください。**

STEP 4

アクトSPNを仮固定します。

- **使用条件にご注意して配管してください。**
- **推奨曲げ半径は100R以上として下さい。**



STEP 5

圧力テストを実施します。

所定の試験圧力による加圧試験を行ってください。

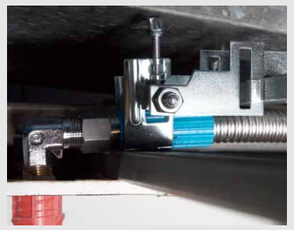
- **警報弁二次側水圧テスト：1.75MPaを限度としてください。**
  注意：耐圧試験を行う場合、フレキのヘッド取付側金具からの加圧は絶対に行わないでください。フレキ取付形状によっては、加圧によるフレキのねじれや、加圧装置からフレキに加わる外力、ポンプの振動等により、フレキの破壊につながります。誤って加圧した場合は、速やかに当該フレキを交換してください。

STEP 6

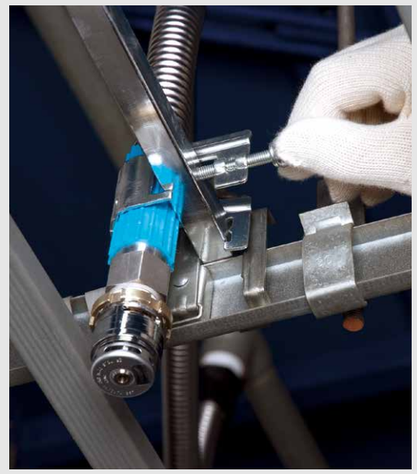
アクトSPNを固定します。

角バー等を取り付けて、青色カバー部(絶縁部)のレベルゲージで高さの調整を行い、ヘッドのレベルを揃えてください。

- **アクトSPNの固定は、専用の固定金具を使用し本体の青色カバー部(絶縁部)に固定してください。**
- **スプリンクラーヘッドの取り付け部は取付面に対して垂直になるように施工してください。**



ダクト下用金具施工例



消火関連製品

SPN取扱上の注意　SPN Handling Precautions

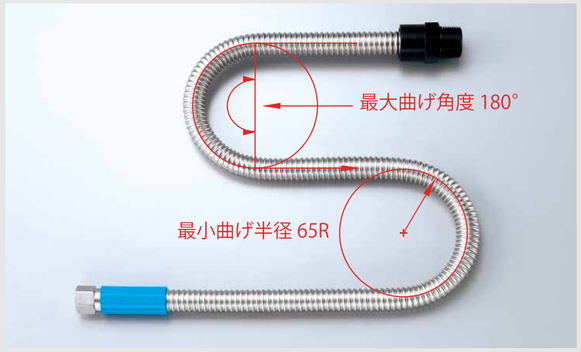
アクトSPNを使用される時は、以下の注意事項を遵守してください。

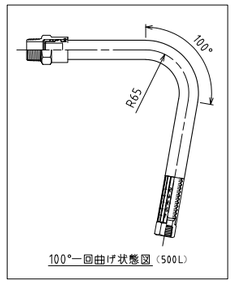
1 ニップル、ソケット六角部以外の部分にはレンチを掛けないでください。

●フレキ部、カバー部(絶縁部)にレンチを掛けますと、変形・破損の原因になります。変形または破損したアクトSPNは、絶対にご使用にならないでください。

2 極端な曲げによる施工は避けてください。

●フレキ部、滑らかなカーブになるように曲げてください。
最大曲げ角度(180°)以上及び最小曲げ半径65R以下で曲げないでください。
●ニップル根元からの極端な曲げは避けて下さい。
●最大屈曲形状時(最小曲げ半径65R/最大曲げ角度180°)の曲げ箇所数について
・巻出しフレキの全長が3800L以下で2箇所曲げ、4500L以上で4箇所曲げとなります。(最大曲げ角度が90°の場合は、3800L以下で4箇所曲げ、4500L以上8箇所曲げとなります)
・500Lは、500Lの最大屈曲状態は、最小曲げ半径65R 最大曲げ角度100° 曲げ箇所数を1箇所となります。





100°一回曲げ状態図（500L）

3 必ず専用の固定金具を使用して、カバー部でしっかり固定してください。

●専用固定金具以外をご使用になると、締め付け強度が弱くなり、製品性能が損なわれる場合がありますのでご注意ください。
●カバー部を外して固定すると、絶縁効果が薄れるのでご注意ください。

4 配管ダクト等に接触する恐れがある場合は、絶縁性の低下を防ぐため、その部分に防食テープ等を巻いてください。

●【被覆品オプション】(P12)と【半割樹脂カバー】(P15)を参照ください。

5 アクトSPNの近くで溶接作業を行う際は、フレキ部分に養生を行ってください。

●【被覆品オプション】(P12)を参照ください。

6 露出環境での乾式配管は、防護措置を施してください。

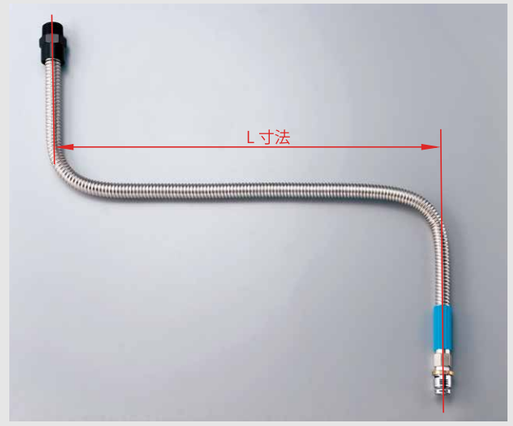
●露出環境での乾式配管の場合、火災時の熱による著しい損傷を受けるおそれがある部分に設置する際は、防護措置を施してください。(例:準不燃材料で造られた区画・間仕切り・天井等で覆うことや、50mm以上の厚さのロックウールを巻くなど、火災時の炎及び熱から有効に防護できる措置を施してください。)

7 フレキにアースを接触させないでください。

8 フレキの選定及び中間支持施工に関して、以下の点にご注意ください。

※総務省消防庁/スプリンクラー設備等の耐震措置に関する指針より一部引用

●振れを想定して、±200mm 程度の変位に対応できる長さにする。
●地震時の変形が過大にならないように、適切な長さを選定し、必要に応じて中間支持を行う。
●フレキの支持間隔は配管有効長を最大２メートルとしてください。
※配管有効長は、下記のL寸法表をご参照ください。



●L 寸法表 (mm)

NO.	L (mm)
SPN-05	215
SPN-08	515
SPN-11	815
SPN-15	1215
SPN-18	1515
SPN-20	1715
SPN-21	1815
SPN-25	2215
SPN-30	2715
SPN-38	3515
SPN-45	4215
SPN-55	5215
SPN-65	6215

9 不凍液のご使用は、腐食発生や夏季高温時による体積膨張(異常昇圧)の懸念がございますので、ご注意ください。

10 フレキを凍結させると破損の原因になりますので、ご注意ください。

11 屋内プール等の塩素イオン濃度が高い場所での使用は、フレキを腐食させる場合がございますので、ご注意ください。

●【被覆品オプション】(P12)を参照ください。

12 一度設置済みのフレキの再利用は、推奨しておりません。

●設置時のフレキの曲げ回数、Oリング(ゴム素材)への加圧の履歴により、再利用した際に本来の製品性能が損なわれる可能性があるため、ご注意ください。

13 屋外での保管は避けてください。

●直射日光を避け、熱気のこもらない方法で保管してください。

For Safety

For Convenience

For Future

営 業 部　〒115-0051　東京都北区浮間5-3-3
TEL 03-3966-2286(代)　FAX 03-3967-2085

関西営業所　〒550-0005　大阪府大阪市西区西本町2-5-10 コンフィデンス西本町306号室
TEL 06-6585-9650　FAX 06-6585-9651

広島営業所　〒733-0012　広島県広島市西区中広2-17-26 ベル中広1階
TEL 082-208-1845　FAX 082-208-4418

東北出張所　〒980-0014　宮城県仙台市青葉区本町一丁目5番28号　カーニープレイス仙台駅前通603号室
TEL 080-4923-2317　FAX 03-3967-2085

茨城工場　〒300-2512　茨城県常総市大輪町178
TEL 0297-24-7821　FAX 0297-24-7825

本　　社　〒174-0051　東京都板橋区小豆沢2-26-10
TEL 03-3967-5751(代)　FAX 03-3969-3287

*本カタログの掲載製品の内容は、改定日時点での資料、データに基づいて作成されております。仕様・外観などは予告なく変更する場合がございますので、あらかじめご了承ください。

*印刷の関係上、実際の製品と若干異なる場合がございます。

2026. 11.10. ver.9.0.0

株式会社 昭和螺旋管製作所
ShowaRasenkan Seisakusho Co., Ltd.

https://www.showarasen.co.jp/